

アーティスト紹介（コラボアート）

「健康医療」「地球環境」「伝統文化」という3つの社会テーマに対して、多領域とのコラボレーションの経験があり、さいたま市で活躍している3名のアーティストを厳選。

寿の色（油絵） 「健康医療コラボレーション」



さいたま育ち。武蔵野美術大学油絵学科卒業。

身近に溢れるたくさんの色や素材を取り入れての作品づくり、造形ワークショップを行う。主にさいたま市内での地域の関わりを軸に活動。幼稚園でのアート教室講師のほか、表現活動を誰もが楽しめるような場づくりを模索中。

名前の由来は日本舞踊の芸名から。おめでたい、日本の古来のモチーフが好き。

鳳真れお（盆栽） 「地球環境コラボレーション」



彼の活動スタイルは、顔出しをしない本名非公開という独自のスタンスから「盆栽界のバンクシー」と海外の投資家の間でも称される、第39回青年版国民栄誉賞ファイナリストの実力派アーティスト。

彼の手掛ける作品は、人や企業の物語を樹形・枝ぶり・鉢に投影し、言葉を介さず「在り方」を語る盆栽インスタレーションアート。浅草・渋谷などで発表した作品は、日本の精神性と美意識を生きた自然で空間ごと表現する。

丁子紅子（日本画） 「伝統文化コラボレーション」



日本画家・丁子紅子（1991年埼玉県大宮出身）。2009年埼玉県立大宮光陵高等学校美術科卒

2023年女子美術大学日本画専攻卒

現在、現代童画会常任委員、日本美術家連盟会員。2025年初画集"ここに在る。"刊行、アートフェア東京で個展開催(靖雅堂夏目美術店ブース)

2026年アダチUKIYO大賞受賞。百貨店を中心に発表し、装丁や音楽作品など多分野でも活動。